

第4回新型コロナウイルス感染症対策に関する調査結果速報

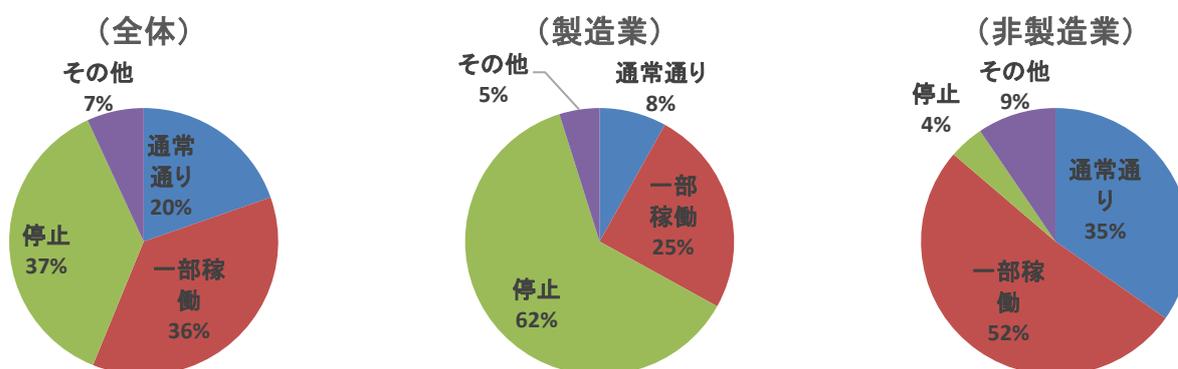
2020年4月8日

実施期間： 2020年4月3日～4月7日

回答数： 214社（製造業：120社、非製造業：94社）

1. 企業活動への影響

1) 企業活動の状況



■ 通常通り:

- 医療、食品、物流業など不可欠な活動のため
- 取引先が稼働中のため

■ 一部稼働または停止:

- メキシコ政府による非常事態宣言発令による
- 取引先の操業停止、または稼働率低下のため
- 感染予防のため

■ 現時点での停止期間:

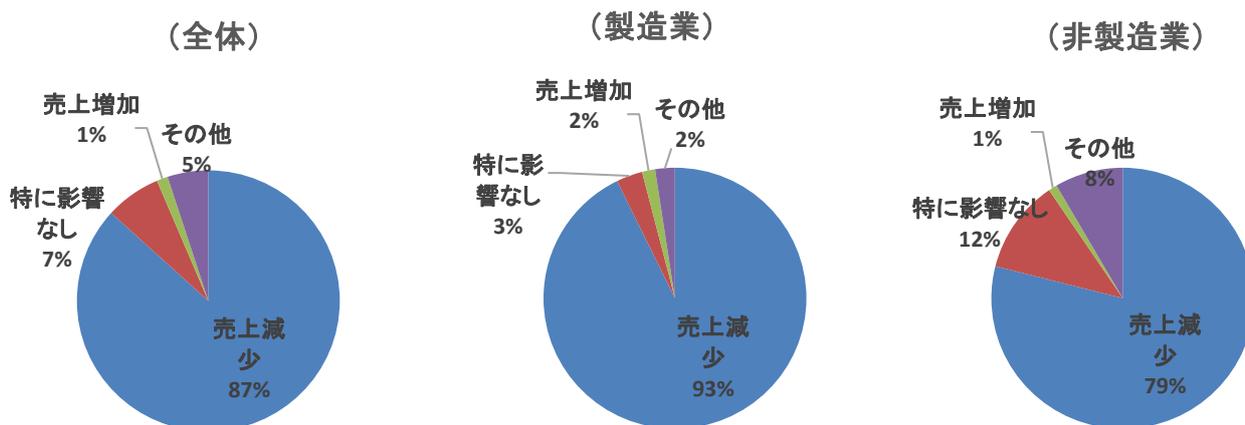
(製造業)

- 4/30まで … 30%
- 4/12まで … 20%
- 4/19まで … 10%
- その他(4/8まで、政府の指示に従う等)

(非製造業)

- 4/30まで
- 衛生上の緊急事態宣言による
- 顧客の生産が再開するまで

2) 売上への影響



■ 売上減少:

- 製造、出荷ができないため
- 顧客の生産停止、減少による
- メキシコ通貨下落を主な事由としたローカル企業の購買力低下
- 外出自粛により、営業活動、サービス活動が行えない
- 感染リスクの高い層の従業員が自宅待機のため減産

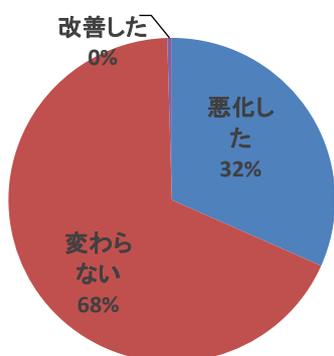
■ 影響なし:

- まだ短期間なので売り上げ影響が出ていないが、今後は予算削減などにより減少すると予想
- 影響は4月以降に現れる見込み

■ 売上増加:

- 医療器材の需要増
- 多くのアカウントから今後オーダーを出せなくなることを考慮して通常より多めのオーダーが来ている。店舗での実売に注意しないと在庫がたまるリスクがある。

3) 新型コロナウイルスの影響による治安悪化



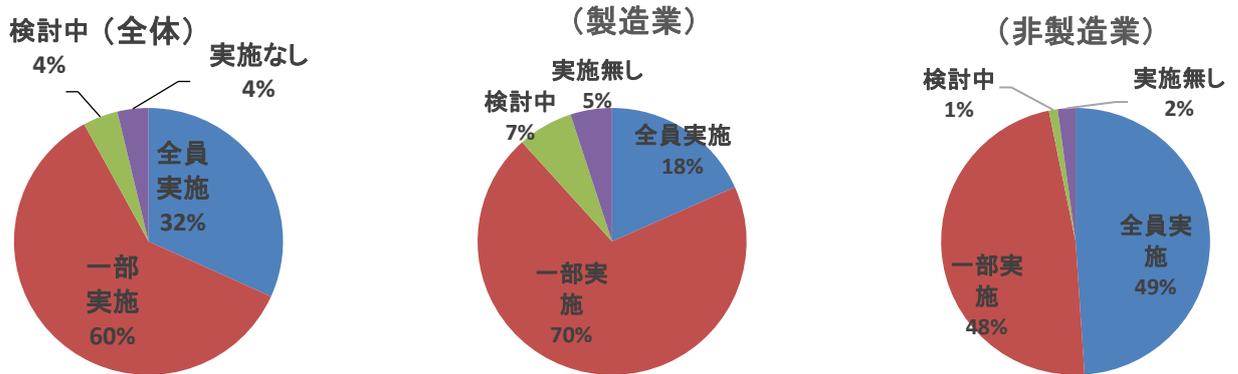
■ 悪化した:

- SNSを通じて強盗等の犯罪を呼びかける事例あり。
- アジア人に対する偏見。
- 人気がなくなり不安を感じる。
- 警戒パトロールの数が心なしか減っている。
- 景気低迷が長引けば低所得者層を中心に治安は悪化する。
- 失業率の悪化により、強奪事件発生等の情報を聞く。
- 警察官を装った(?)者が工業団地で稼働状況やセキュリティを確認して回っているとの話を聞いた。窃盗の事前調査のように感じられる。

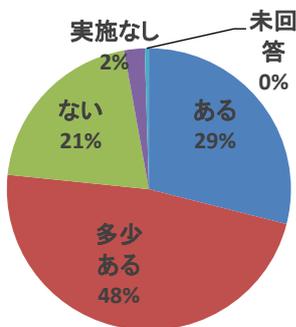
■ 変わらない:

- 今後悪化することを懸念。

4) 在宅勤務の導入



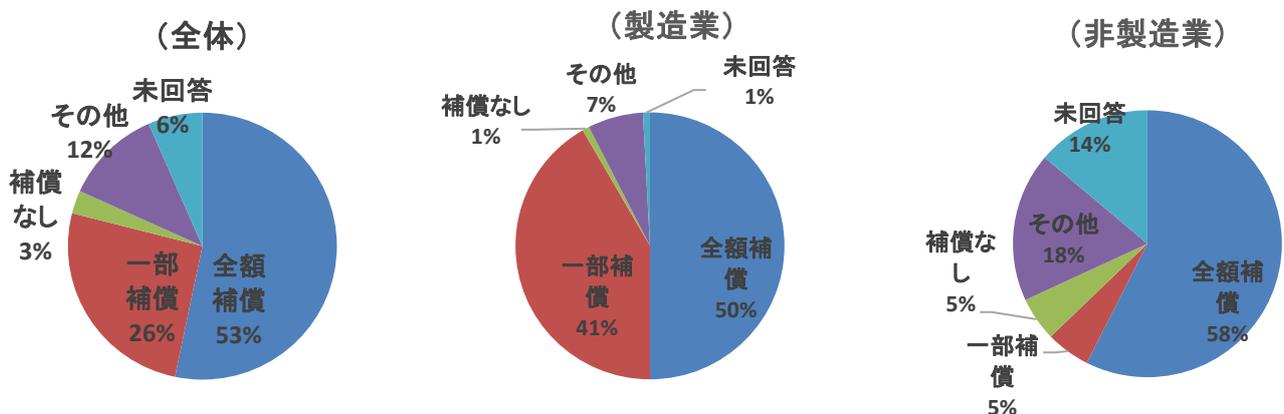
5) 在宅勤務による支障



■ 在宅勤務による支障:

- ・ コミュニケーション不足や取りづらさ
- ・ セキュリティ上データ管理の問題
- ・ インターネット環境
- ・ 経理業務
- ・ 署名を必要とする書類などの処理
- ・ 業務が限定されることによる業務効率の低下
- ・ 従業員の労務管理
- ・ 在宅勤務ができない従業員との分別

6) 自宅待機(在宅勤務不可の職種)の従業員への給与補償



■ 一部補償

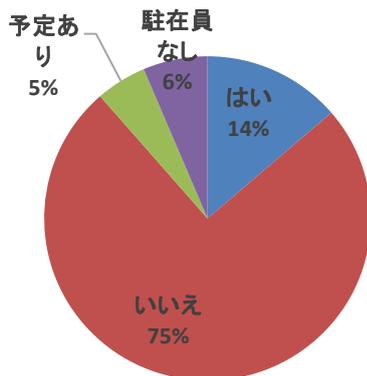
- 50%支給
- 給与 75%補償とし、福利厚生は全額支給。
- 全従業員一律 給与 90%、福利厚生 100%
- 組合員給与 60%、ベネフィット 100%
- 店舗・工場は最低賃金、オフィスワーカーは 50%の支払い
- 100%支払わなくてはならないと聞いたが、80%位で交渉になりそうです。
- 給与保証 70% 在宅勤務者 100%
- 当初全額、その後一部に段階的に変更
- 組合員は一部補償で、非組合員は全額補償

■ その他の場合:

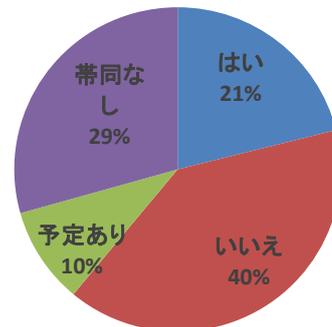
- 有給休暇の推進
- 在宅勤務不可の従業員は出社

2. 駐在員と帯同家族の対策

1) 駐在員の一時帰国を実施していますか。



2) 帯同家族の一時帰国を実施していますか。



■ 判断条件

実施している場合:

- 親会社の判断による
- 希望する場合
- 健康上の理由、乳幼児の有無等
- 医療環境、治安、物流インフラへの懸念
- 外務省の感染症危険レベル 2 以上
- 直行便の運航状態

実施していない、または、予定ありの場合:

- 親会社の判断による
- 治安悪化や医療崩壊した場合
- 食料品の調達に支障をきたす場合
- ロックダウンの実施
- フェーズ 3 へ移行した場合
- 感染者数の増加 (例: 10,000 人を超えた場合など)
- 外務省の感染症危険レベル 3 の場合
- 取引先や他会社の動向次第
- 日本人学校の予定により判断

3. 苦慮している課題

■ 労働者の解雇

- ビジネスの回復度合いに応じては労働者を解雇も必要と考えている。
- 感染拡大により事業再開が出来ない場合、従業員解雇の可能性を考えなければならない。

■ ビザ申請・更新

- ビザ手続きの更なる遅延が心配。
- 移民局事務所閉鎖により、ビザ更新ができない。

■ 各種行政手続きの遅延

- 一部の行政手続きが休止しており、手続きが進まない。
- 行政各所がクローズしており手続きが遅延している。

■ メキシコ政府発表内容の曖昧さ

- 操業継続可否判断が明確でない。
- 連邦・州・市の指示が不透明。
- 企業支援策があるのか、検討しているのか知りたい。

■ 資金繰り

- 売上減少に伴う利益・資金繰りの悪化。
- いつ収束するかわからず、将来の資金繰りが不安。
- 2020年度の業績は確実に悪化するため、連邦政府及び州政府から税務面での軽減や猶予をお願いしたい。

■ その他

- 従業員に感染者が出た場合の対処方法
- 派遣社員の処遇
- どこまで従業員の給与補償をしないといけないのか
- 治安の悪化が心配
- 休業明けの従業員・特にオペレータの離職状況